

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金(9次締切)について

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金は、中小企業・小規模事業者等が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更等に対応するため、中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援するものです。

また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、社会経済の変化に対応したビジネスモデルへの転換に向けた新型コロナウイルスの影響を乗り越えるために前向きな投資を行う事業者に対して、通常枠とは別に、補助率を引き上げ、営業経費を補助対象とした「新特別枠」として低感染リスク型ビジネス枠を新たに設け、優先的に支援します。

補助上限

一般型	1,000万円
グローバル展開型	3,000万円

補助率

通常枠	1/2
小規模企業者・小規模事業者	2/3
低感染リスク型ビジネス枠	2/3

補助要件

- 以下を満たす3～5年の事業計画の策定及び実行
  - ・付加価値額 +3%以上/年
  - ・給与支給総額 +1.5%以上/年
  - ・事業場内最低賃金≧地域別最低賃金+30円

応募締切

令和4年2月8日(火)17時

- 本事業の各締切において不採択だった方は、9次締切に再度ご応募いただくことが可能です。9次締切分の採択発表は、令和4年3月下旬を予定しています。

申請方法

- 申請は、電子申請システムでのみ受け付けます。
- 本補助金の申請にはGビズIDプライムアカウントの取得が必要です。未取得の方は、お早めに利用登録を行ってください。

詳細はこちら

【お問い合わせ先】

ものづくり補助金事務局サポートセンター

電話番号 050-8880-4053

受付時間 午前10時～午後5時  
(土日祝日を除く)

メールアドレス

公募要領に関するお問い合わせ

monohojo@pasona.co.jp

電子申請システムの操作に関するお問い合わせ

monodukuri-r1-denshi@gw.nsw.co.jp

話題の広場

中央会事業より

災害に備えた事業継続計画(BCP)の策定について学ぶ  
～管工事業危機対応力強化懇談会～

10月27日(水)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県管工事業協同組合連合会(太田博之理事長)を対象に第2回管工事業危機対応力強化懇談会が開催され、同連合会所属の組合や任意団体から19名が出席しました。

まず、先進的な管工事組合のBCP策定事例として、滋賀県の草津市管工事協同組合理事長の武元港氏からオンラインによる講演があり、武元氏は「災害協定を結んでいる草津市

上下水道課などがBCPを策定したことを受け、当組合も策定に取り組んだ。役員に理解してもらうため、BCPの内容はわかりやすくするよう努めた。」と述べ、策定のきっかけや留意点などについて経験を基にお話しいただきました。

次に、モデルケースとして秋田管工事業協同組合が策定を進めているBCP案が発表され、秋田市の想定を基に地震災害時における上下水道の応急復旧作業、秋田市上下水道局からの受託業務の遂行、組合員の組合内外における連携支援の3つを優先すべき重要業務と位置づけるとともに、連絡系統図を整備し、緊急時の指示指令の流れを明確化しています。

BCP案の発表を受けて行われた懇談では、意見交換が行われ、連絡系統図について、連絡が取れない場合の対応を明記

した方が良いのではないかといった意見が出されました。

懇談会のコーディネーターを務めた横尾経営労務管理事務所代表の横尾徳仁氏からは、「BCP策定の際は、特定の部署で作成せず、様々な部署の意見を聞いてほしい。そうすることで完成度が高くなる。」とアドバイスがありました。

同連合会では、本懇談会を踏まえ、会員のBCP策定を推進することとしており、本会も必要に応じてサポートすることとしています。



[懇談会の様子]

## 講師も受講者も全て女性！ ～女性起業支援セミナーを開催～

近年、就業支援や起業の促進等を通じて、女性の活躍が推進され、女性起業者の割合が増加傾向にあります。女性のみを対象とした起業セミナーを開催することで、女性の起業促進の機会をこれまで以上に促進することが求められています。

そこで、本会では、県内での起業を検討または関心のある女性や、本会・他機関の起業塾・起業セミナーを過去に受講した女性、県内で起業後3年未満の女性を対象に、10月16日（土）から11月6日（土）までの4回にわたり、秋田市の「秋田テルサ」において女性起業支援セミナーを開催しました。

セミナーでは、起業の流れや留意点、商品・サービスを効果的に「伝えるように伝える」ポイントのほか、WEBやネットショップの立ち上げ方や女性ならではの感性を活かしたSNS・チラシの活用法について学びました。

最終回では、本会より個人事業主と法人の違いや企業組合制度について説明したほか、本会会員のmini Graph企業組合の皆川理事長や協同組合ニカホノサキの國重理事長から



[セミナーでのグループワークの様子]

起業体験談を披露いただいた後、セミナーの締めくくりとして受講生数名が、起業プランを発表しました。

皆川・國重両理事長からは「どうしようもないことでも、そこから売上に繋がっていくかもしれないので、声をかけてもらったら全て受けるという気持ちを持ち、失敗を恐れずにチャレンジしてほしい。」と受講生にエールが送られました。

本会では、今後も女性を対象とした起業支援セミナーを開催していくこととしています。

## 特別講座・拡大交流会を開催 ～あきた食品事業マネジメント力講座～

10月26日（火）、あきた食品事業マネジメント力講座の締めくくりとなる特別講座・拡大交流会が完全オンライン形式で開催され、34名が出席しました。

この講座は、県内の食料品製造事業者の役員等を対象に、県外への展開を目指すマーケティングノウハウや生産性向上のための製造管理手法等について学ぶ機会を設け、事業の中核となる人材育成を図ることを目的に、県地域産業振興課食品工業班が主催しているもので、本会が運営事務局を担当しています。

当講座には製造マネジメントコースと県外展開マーケティングコースの2つのコースがあり、7月以降それぞれ4回にわたって講座が開催され、最終回となる今回は、交流や連携促進を図るため、各コースの受講者だけでなく、昨年度以前の受講者や食料品製造事業者、支援機関も参加しました。

はじめに、両コースの受講者2名より、受講内容を踏まえた自社計画等の発表が行われ、各講座を担当した講師より、解説と講座全体の総評がなされました。



[研修会の様子]

続いて行われた特別講座では、「食品製造業における事業者間連携の現状」をテーマに一般社団法人地域資源活用会の事務局の西隆介氏から講演が行われ、西氏は「コロナ禍だからこそ企業の得意分野を活かした連携が必要である。」と述べました。

また、「秋田佃煮を広めたい若旦那衆の挑戦」をテーマに講演したSmelt代表の佐藤賢一氏は、「1社でできないことでも、みんなで協業に取り組むことでできることがある。できないことを言い訳にせず前向きに楽しみながら取り組んでほしい。」とアドバイスがありました。

# 脱ハンコ・ペーパーレス化を 進めるには ～経営環境変化対応セミナー～

最近、行政手続きにおける押印手続の見直しや各種申請書類の電子化など、脱ハンコ化・ペーパーレス化への動きが加速しており、本会会員組合や組合員企業においてもその対応が急務になりますが、多くの中小企業においては、知識不足や人材不足により対応の遅れが課題となっています。

そこで、脱ハンコ・ペーパーレス化に取り組む上でのメリット・デメリットやツールの活用方法、デジタル文書の法律上の効力等について理解してもらおうと、経営環境変化対応セミナーを11月19日(金)に秋田市のホテルメトロポリタン秋田において開催し、オンラインでの出席者を含めて、会員組合や組合員企業などから30名以上が出席しました。

セミナーでは、企業のデジタル化を推進するシステム開発やコンサルティングを行っているADK富士システム株式会社



[セミナー会場の様子]

経営企画室の伊藤真弓氏を講師に迎え、講演いただきました。

伊藤氏は、脱ハンコ・ペーパーレス化は業務効率化やコスト削減、ガバナンス・コンプライアンス強化といったメリットをもたらすと説明した上で、「社内の回覧文書など取りかきやすい書類から脱ハンコ・ペーパーレス化に取り組んでほしい。」とアドバイスしました。

本会では、経営環境の変化への対応に向けて、今後も相談対応等で情報提供を行ってまいります。

## 支援団体 活動レポート

### 商品やサービス等の魅力を効果的に伝えるには？

(3団体共催講習会)～秋田県中小企業組合士会、  
秋田県中小企業団体事務局協議会、秋田県中小企業青年中央会～



11月24日(水)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県中小企業組合士会、秋田県中小企業団体事務局協議会及び秋田県中小企業青年中央会の3団体共催による講習会が開催され、3団体の会員をはじめ、他の支援団体の会員や本会賛助会員など53名が出席しました。

この講習会は、コロナ禍でビジネススタイルが変わりつつある中で、商品やサービス等の魅力をいかに伝え、売上アップを図っていくかを考え、組合や企業の事業運営に役立ててもらうために企画したものです。

今回は、山形新幹線つばさレディ1期生として車内販売員を始め、テレビや新聞などで「カリスマ車内販売員」として話題となった株式会社グローバルゲンテン代表取締役の茂木久美子氏より、「コロナ禍で商品・サービスを効果的に伝える共感力の磨き方」をテーマにオンラインによりアドバイスがありました。

茂木氏は、「お客様の気持ちを分かった上で対応できる力『共感力』を鍛えたことで仕事が面白くなり、お客様のことを深く知りたくなった。共感力は目に見えないので、お客様に伝わりづらいつらいと思いがちだが、お客様は間違いなく気づいている。共感力を鍛えるためには、自社と違う業界のサービスやおもてなしを実際に体感し自社に置き換えてみるとともに、思いついたら行動し失敗や成功を繰り返すことが大切である。」と述べました。

コロナ禍で、本会の支援団体では研修事業等が思い通りに実施できていませんが、今回のように複数の団体が連携して研修会を共催するなど、柔軟に対応していくこととしています。



[3団体共催による講習会の様子]

## 新理事長紹介

下記の方が新しく理事長に選出されましたので、ご紹介します。

**企業組合秋田北部清掃興業  
(秋田市)** 理事長 小林 茂一さん

改選日 令和3年5月25日

**秋田清掃事業協同組合  
(秋田市)** 理事長 小林 茂一さん

組合員名 企業組合秋田北部清掃興業  
役職 理事長 改選日 令和3年10月29日

### ● 会員組合の皆様へ ●

本コーナーでは、会員組合の理事長交代について紹介しております。新しい理事長が選出された場合は、本会総務企画課(☎018-863-8701)までお知らせください。



## 全国中央会創立65周年を祝う

〔全国中小企業団体中央会創立65周年記念式典〕

11月5日(金)、東京都千代田区の「ホテルニューオータニ」において、全国中小企業団体中央会の創立65周年記念式典が開催され、来賓や表彰者、関係者等約200名が出席しました。

全国中小企業団体中央会は、1956(昭和31)年4月10日に設立され、経営資源の確保が困難な中小企業・小規模事業者に寄り添うことで組合等連携組織として大きな役割を果たしてきました。

式典では、中小企業庁をはじめ中小企業関係諸機関の来賓出席の下、表彰式が行われ、中小企業庁長官表彰として都道府県中央会役員37名、都道府県中央会専従職員68名が表彰され、本会副会長の加藤憲成氏及び本会職員5名が中小企業庁長官表彰を受賞しました。

その後開催された祝賀会では、全国からの受賞者が参加し、65周年の節目を盛大に祝いました。

中小企業庁長官表彰  
(中央会役員)



加藤憲成氏  
(本会副会長)



〔65周年記念式典の様子〕

## 知事懇談会における懇談テーマ等を審議

〔令和3年度第2回理事会〕

11月19日(金)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、本会の令和3年度第2回理事会を開催しました。

開催にあたり、藤澤会長は「新型コロナウイルス感染者数が減少し、ようやく収束の兆しが見えてきた。今後ワクチン追加接種や飲み薬の実用化等により、更なる状況の改善が期待される。9月から10月にかけて、本会では商工会議所や商工会連合会と連携し、延べ7,153回にわたり職域接種を実施し、多くの事業者から感謝の声が寄せられている。

一方で、燃料価格の高騰や半導体等の資材不足など、中小企業を取り巻く経済環境は厳しさを増しており、岸田内閣によるコロナ対策強化と経済再生を両立した予算編成に期待したい。本会としては、支援施策等をタイムリーに情報発信するとともに、柔軟で効果の上がる支援に取り組んでまいりたい。」と挨拶しました。

引き続き、藤澤会長が議長となり、議案の審議が行われ、会員の加入・脱退の承認、今年度上半期の事業遂行状況等の

他、令和4年度秋田県補助事業予算の概要等について報告が行われました。

また、協議事項として佐竹知事との懇談会における懇談テーマ等について意見交換が行われ、出席理事から「インフラの豪雨・豪雪対策」、「建設業における若手技術者の確保」、「原材料等の高騰への対策」等、多くの意見が出されました。

ここで出された発言については内容を精査し、要望事項としての他に、懇談の場にて佐竹知事に伝えることとしています。



〔理事会の様子〕

## くみあいピックinなかいちを開催中です！

本会では、コロナ禍で各種イベントの中止や観光客数の激減等による売上減少に直面している県内中小製造業者の販売機会を確保するため、秋田市のエリアなかいち商業棟1階において、「くみあいピックinなかいち」を開催しています。

月替わりで県内の組合・団体が銘菓や伝統工芸品等の県産品を出品しており、11月は秋田杉桶樽協同組合と秋田県稲庭うどん協同組合が出店し、職人が作った秋田杉の桶や樽、本県を代表する名産品「稲庭うどん」などが展示・販売されました。

立ち寄った人は、桶や樽を手に取り、木の香りや木目の美しさを感じ取ったり、各社の稲庭うどんの品定めをしたりしていました。

くみあいピックは、店舗の入れ替え日と年末年始を除いて、来年2月まで毎日開催しています。

12月は、県内の木工事業者と秋田公立美術大学の産学連携による商品力向上プロジェクト「ORAEアキタファニチャー」が出店します。ご来場をお待ちしております。



〔11月のくみあいピックの様子〕

# 鹿角市花輪3商店街が共通商品券を発行

鹿角市の花輪大町(川口智理事長)、花輪新町(山崎豊理事長)、谷地田町(石木田幸治理事長)の3商店街振興組合では、5,000円で7,000円分の買い物ができるプレミアム付商品券を販売しました。

これは、新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ消費を喚起しようと、3組合が共同で企画した商品券で、500円券10枚つづりと1,000円券2枚つづりが1冊となっています。

これまでに鹿角市内で発行された商品券の中で過去最高のプレミアム率とあっ

て、販売初日には準備数の3分の1が売れ、販売終了の日までに完売しました。

鹿角市花輪大町商店街振興組合の川口智理事長は「商品券の使用をきっかけに商店街にもっと足を運んでもらえればうれしい」と述べています。

この商品券は、3商店街振興組合の組合員と賛助会員合わせて44店舗で使用でき、利用期限は来年1月20日までとなっています。



[商品券のチラシ]

## Information

### 中小企業庁 原油価格上昇に関する 特別相談窓口を設置しています

中小企業庁では、原油高の影響を受けた中小企業・小規模事業者に対する資金繰り支援策として、日本政策金融公庫等の制度の実施に合わせて、中小企業・小規模事業者対策を行っています。

#### 〈特別相談窓口の設置〉

日本政策金融公庫、商工組合中央金庫、信用保証協会、商工会議所、都道府県商工会連合会、都道府県中小企業団体中央会、各地方経済産業局などに「原油価格上昇に関する特別相談窓口」を設置し、原油価格上昇の影響により資金繰りに困難を来している中小企業者に対する資金繰りや経営に関する相談を受け付けています。

その他、日本政策金融公庫等が実施するセーフティネット貸付の運用緩和や、関係事業者団体約1,400団体に対して、下請事業者に対する配慮要請を行っています。

#### 【お問い合わせ先】

中小企業庁経営安定対策室  
TEL : 03-3501-0459



### 中央会 新春経営トップセミナーと 賀詞交歓会を開催します!

本会では、県内中小企業経営者等を対象にした新春経営トップセミナーを開催します。

講師には、競泳平泳ぎの日本代表としてシドニーオリンピックでは銅メダルを獲得、また各種テレビ番組のコメントーターとしても活躍している田中雅美氏をお招きします。

また、セミナー終了後は、「新年賀詞交歓会」を開催します。ぜひ、ご参加ください。

#### ◆申込方法

参加申込書にご記入の上FAXにて送付下さい。(本会ホームページからもダウンロードできます。)

#### ◆開催日時

令和4年1月19日(水) 午後3時15分～  
(※新年賀詞交歓会は午後5時～)



#### ◆開催場所

ホテルメトロポリタン秋田3階「ジュエル」

〈テーマ〉『あきらめないことの大切さ  
～目標を達成する心の育み方～』

〈講師〉田中 雅美氏

〈受講料〉無料

(新年賀詞交歓会に参加の場合はお一人様7,000円)

#### ◆申込締切

令和3年12月24日(金)